

「松前町町営住宅再編整備基本構想」（案）に対するパブリックコメントの実施結果及び松前町の考え方について

意見公募期間	令和8年8月3日(月)から令和8年9月4日(金)
意見公募場所	松前役場まちづくり課、町ホームページ
意見提出者数	1名
意見等項目数	2件

No.	該当ページ	項目	御意見	町の考え（回答）
1	—	—	①人口減少社会になり、人々の居住場所もライフサイクルに応じ、自由に移動できる時代になってきているので、町営住宅の集約・建替えであっても、町が住宅建物を所有するのはリスクがあると思います。 既存居住者への配慮も必要なので、すぐには難しいとは思いますが、長期的には、町営住宅の不動産は、民間に売却した上で、民間からの投資を促し、売却益を原資に、必要に応じて町が借り上げて必要な人に安く貸し出せば、町として、不良資産を抱えるリスクを避けつつ、時代に応じた住居サービス（子育て世帯の勧誘や、本当に住居に困った人へのセーフティネットとしての住居提供）ができるのではないのでしょうか？	①御意見のとおり、人口減少や世帯構成の変化を踏まえ、町営住宅の再編にあたっては、町による直接整備だけでなく、新築・既存の民間賃貸住宅の借上げについても、事業費や財政負担等を比較しながら検討していく必要があると考えています。 また、用途廃止後の土地・建物や再編により生じる余剰地については、公共空間としての活用を優先しつつ、民間活用や売却等も検討し、その収入を住宅再編の財源として活用していきます。 さらに、本基本構想では、町営住宅を従来の「福祉住宅」から「本町への定住を支える住宅」へ再定義し、ライフステージに応じた住み替え等を進めることとしており、今後の社会情勢や居住ニーズの変化に応じた住宅政策の充実を図っていきます。
2	31	(3)	②宗意箱住宅の周辺の戸建て住宅を所有しておりますが、道路が狭く、救急車や消防車を始め大型車両などの通行にも支障があります。 31ページの建替イメージ案の整備では、周辺の戸建て住宅との間に幅員の広い道路を整備されるようなので賛成します。 余剰地は、防災面の空間やイベントにも活用できる空きスペースとして整備が良いと思います。 周辺の戸建て住宅の資産価値も上がるよう整備していただくことは、町としては固定資産税収入の増加にもなるので、互いにWinWinの関係になると思うので、町営住宅周辺の戸建て住宅所有者としては期待します。	②宗意箱住宅は、広い敷地を有し、住宅の建替えに加えて道路、公園、余剰地等を一体的に検討できる可能性の高い敷地であると考えています。一方で、周辺道路の幅員が狭く、敷地への進入路の確保・改善が重要な課題であると認識しています。本構想でも、道路整備、公園整備、余剰地活用等を一体的に検討する方向性を示しています。 なお、基本構想に示す道路の位置や形状等は現時点でのイメージであり、確定した計画ではありません。今後、道路整備の実現性を検討しながら、宗意箱住宅の建替えや周辺の土地利用を具体化していきます。余剰地についても、公園や広場など地域で活用できる空間として、地域の御意見を伺いながら検討します。